

はじける笑顔、新しい道を進め!!
卒業おめでとう
 2010年3月17日



第32回卒業式及び第14回専攻科修了式が本校第2体育館で挙行されました。本校卒業生には、マレーシア、ベトナムからの留学生を含む120名に卒業証書が、専攻科修了生29名には修了証書とJABE(EI)設計情報工学プログラム修了証が、校長から一人ひとりに授けられました。式終了後、後援会の主催で行われた祝賀会では、来賓や保護者のスピーチ、先生方を囲んだ記念撮影などで華やかなひとときを過ごしました。今後、皆さんの夢に挑戦され、社会に貢献されることを期待します。

徳山高専 NEWS

2009.11~2010.4

友達できた! 楽しかった!!
 野外炊飯は美味しかった?
新入生合宿研修
 2010年4月7日~8日



国立山口徳地青少年自然の家において、規律ある生活を通して連帯意識の高い生活習慣を学ぶとともに学生相互、教職員との交流を目的に新入生合宿研修が行われました。4、5年生の指導学生や校長、教職員と共にオリエンテーリング、野外炊飯などを協力して行いました。最終日には「ボクの夢・ワタシの夢」の作文が発表され、1年生が高専生活の第一歩を踏み出しました。

入学おめでとう
第37回入学式
第16回専攻科入学式
 2010年4月4日



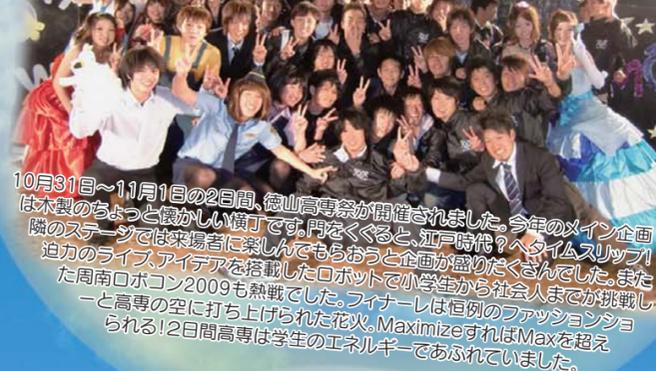
桜が満開の4月4日、徳山高専に169名の入学生を迎えました。本校第2体育館で行われた第37回入学式では、機械電気工学科44名、情報電子工学科46名、土木建築工学科40名の本科入学生130名と4年次編入生2名、カンボジア、モンゴルからの留学生2名が、第16回専攻科入学式では3専攻35名が入学を許可されました。新入生の皆さん入学おめでとうございます。

研究発表も交流も
熱かった!
 2010年4月23日~24日



香川高専の主管により、平成22年度中国四国地区高等専門学校専攻科生研究発表会が高松市で開催されました。本校からは専攻科2年生36名、教員5名の計41名が参加しました。2日間とも、ポスター及び口頭により、特別名の計41名が発表し、活発な質疑応答が繰り広げられました。また、初日の夜には、中国・四国地区の専攻科生が一堂に集い、学校紹介のプレゼンテーションを楽しみながら、学校会、学校紹介のプレゼンテーション、人生について熱く語り合い、交流を深めることができました。

第35回高専祭
 テーマはMaximize!
 2009年10月31日~11月1日



10月31日~11月1日の2日間、徳山高専祭が開催されました。今年のメイン企画は木製のちょっと懐かしい横丁です。門をくぐると、江戸時代?ヘタムスリッパ!隣のステージでは来場者に楽しんでもらおうと企画が盛りだくさんでした。また迫力のライブ、アイデアを搭載したロボットで小学生から社会人までが挑戦した周南ロボコン2009も熱戦でした。フィナーレは恒例のファッションショーと高専の空に打ち上げられた花火。MaximizeすればMaxを超える!2日間高専は学生のエネルギーであふれていました。

快挙! ダブル受賞
「キャンパスベンチャーグランプリ中国」
 2010年1月



1月27日、中国地方の大学、高専生らを対象にしたビジネスプランコンテスト(第8回キャンパスベンチャーグランプリ中国)の表彰式がありました。応募総数82件の中から、機械電気工学科4年の森岡佑太君が提案した「垂れない醤油注し」が最高賞のグランプリに選ばれ、機械電気工学科4年の山根健輔君が提案した「手の不自由な人のための足用キーボード」が環境・健康・福祉部門の優秀賞に選ばれました。グランプリを受賞した森岡君は3月3日に東京で開催された全国大会へも出場しました。

日本情報オリンピック
本選出場! 優秀賞を獲得
 2010年2月



第9回日本情報オリンピック予選が12月13日に行われ、年齢が高専2年生迄の生徒・学生500名以上が全国一斉にWeb上で競い合いました。情報オリンピックは、課題に応じて短時間で作成したプログラムの正しさを競う、思考力や発想力が試される科学技術コンテストです。本校からは3名が参戦し、情報電子工学科2年の中島淳平君が見事Aランクで合格し、本選出場が決まりました。本選は2月14日に東京で開催され、中島君は本選優秀賞と中国・四国地区の最優秀賞を獲得し、本選成績上位者対象の国際情報オリンピック日本代表選考会(3月19日~25日)に参加しました。(写真左:本選会場オリンピック記念青少年総合センターにて 右:校長室にて)

全国高専
プログラミングコンテスト
 出場作品 雑誌掲載
 2009年12月



雑誌「目録ソフトウェア」2010年1月号に、全国高等専門学校第20回プログラミングコンテスト(10月17日~18日開催)に出場した徳山高専の「本兵衛(ほんならべ)一本ならおまかせ」が写真入りで紹介されました。このプログラムは、バーコードリーダー、複数のWebサイト情報の活用機能、カメラを利用した本のサイズ測定装置などを組み合わせて、新刊書の推薦機能も備えた本格的な本棚整理支援システムを実現しており、実際に使える、使いたいと思わせる作品と好評でした。

パテントコンテスト
 高専部門で表彰
 2010年1月29日



1月29日に行われた平成21年度パテントコンテスト表彰式において、機械電気工学科4年の右田哲朗君が「草取り道具」の発明で特許出願支援対象者に選ばれ表彰されました。今後はパテントコンテスト主催者からの支援により、弁理士のアドバイスを受け、特許出願・審査請求を行い特許権の取得を目指していくことになります。また表彰式では、昨年度「醤油差し」の発明で表彰された機械電気工学科4年の森岡佑太君が、特許権を取得した経験などについてプレゼンテーションしました。

中国地区両部門優勝!
全国大会で素晴らしいパフォーマンス
 2009年11月、2010年1月



11月13日~14日に呉市で行われた第25回中国地区高専英語弁論大会に土木建築工学科3年の波多野さやかさんと機械電気工学科1年の茂山丈太郎君が出場し、波多野さんが唱歌の部で、茂山君がスピーチの部で優勝しました。波多野さんは昨年度のスピーチ部門での優勝に続き、連続優勝でした。1月16日~17日には第3回全国高専英語プレゼンテーションコンテストが東京で開催され、茂山君がスピーチの部に、機械制御工学科2年の角野初輝君、土木建築工学科5年の濱崎翔平君、土木建築工学科4年の中美紗里さんのチームがプレゼンテーションの部に出場しました。スピーチ、プレゼンテーションともに素晴らしい練習の成果を十分に発揮することができました。(写真:中国地区大会会場にて)

理工系学生
科学技術論文コンクール 優秀賞
 2010年3月クール 贈賞式



全国の理工系大学、大学院、高専生を対象とした第11回理工系学生科学技術論文コンクール(月刊工業新聞社主催、文部科学省他後援)において、本校機械電気工学科4年山根健輔君が、応募総数417編の中で優秀賞を受賞し、贈賞式が3月17日に行われました。山根君は創造演習の授業で課題を見つけた際が身につき、その経験から手の不自由な人のための足用キーボードを思いついたこと、さらにこのアイデアを特許出願した経験やベンチャー関連のコンテストで入賞した経験などを踏まえて、これからの技術者を育てるには、このような創造的な教育が重要との提言を行っています。

卒業生による
キャリア体験談
 (キャリア教育支援プログラム)
 2009年12月5日



12月5日に「卒業生によるキャリア体験談」が開かれました。会場のメディアホールは、100名近くの学生でほぼ満席。現在企業や自行で活躍中の7名の卒業生(うち女性3名)が語る、キャリア形成の過程とアドバイスに熱心に耳を傾けていました。本プログラムは4年生と専攻科1年生対象ですが、来年のことを見据えた3年生の姿もありました。体験談後に開かれた懇談会にも多くの学生が参加し、会場の学生談話室は熱気にあふれていました。後輩たちに現在携わっている仕事について活き活きと語り、的確なアドバイスをしている卒業生の姿に、頼もしさを感じました。

森野教授、
国立高等専門学校教員顕彰受賞
 2010年3月23日



機械電気工学科森野敦博教授が、独立行政法人国立高等専門学校機構主催による平成21年度国立高等専門学校教員顕彰において、文部科学大臣表彰を受賞しました。この賞は国立高等専門学校における教育活動、学生生活指導、地域社会への貢献等において顕著な功績が認められた者を、各校から推薦された教員のの中から選考するもので、今回は「中央教育審議会における国の高専政策樹立のための審議に貢献したこと等」が評価されての受賞となりました。写真は、東京で行われた表彰式の様子です。(前列中央が森野教授)